『クローズアップ現代＋』「日本の保険証が狙われる～外国人急増の陰で～」制作担当 御中

私たち移住連（移住者と連帯する全国ネットワーク）は、8 月 3 日に貴社に対し、上記番組に関する意見書を送付し、謝罪と撤回を求めました。これに対し、貴社からは、8 月 8 日付けで、FAX（資料②）による返信がありましたが、その回答からは、私たちからの問題提起の意図を理解し、誠実に答えていただいたものと受け止められませんでした。この度、私たちは、再度以下の質問を送付いたします。

再質問 1

2017 年 3 月の厚労省によるレセプト全件調査において、外国人が国民健康保険に加入して半年以内に 80 万円以上の高額な治療を受けたケース 1,597 件中、結論として厚生労働省が明示している**「不正な在留資格による給付である可能性が残るもの」**は **2 名**であったことについて、御社の山屋智賀子記者が**「数件」**と表現し直した理由は何でしょうか。

また、同記者は、この「数件」の数字について「不正な在留資格による給付である可能性が残るもの」を**「はっきりと偽装滞在で、違法の疑いがあると確認できたケース」**と言いかえて報告しています。これは報道倫理上、看過し難い事態ですが、この件について、御社の見解と今後の対応についてお教えください。

再質問 2

同じく 2017 年 3 月の厚労省によるレセプト全件調査について、厚生労働省は「在留外国人不適正事案の実態把握を行ったところ、**その蓋然性があると考えられる事例は、ほぼ確認されなかった**」（平成 29 年 12 月 27 日「保国発 1227 第 1 号」）としていますが、**この点を報道しなかった理由**は何でしょうか。

再質問 3

「外国人が国民健康保険に加入して半年以内に 80 万円以上の高額な治療を受けたケース 1,597 件」を報道する一方で、これが、「外国人年間レセプト総数(推計):14,897,134 件」の**約 0.01%に当たることを報道しなかった理由**は何でしょうか。

再質問 4

（紹介された事例も含め）雇用されている、あるいは住民登録がある外国人は、**健康保険、国民健康保険の保険料納付義務**があるにもかかわらず、**「ただ乗り」と表現**した理由は何でしょうか。

また、健康保険の被保険者家族について、保険料は被保険者負担であり、医療費のかかる扶養親族を被保険者家族に入れる例は枚挙にいとまがありませんが、**あえて日本人のケースを問題にしない理由は何でしょうか。**

再質問 5

国内に住民登録を置く外国人は、年々増加の一途をたどっています。今回の放送では、高齢化に伴う国民医療費の増加についても触れていますが、**外国人人口の大半を占める若年層が担う、健康保険、国民健康保険料の負担割合も増加**しています。この点についてあえて言及しなかった理由は何でしょうか。

なお、この質問にたいする回答は、9 月 24 日（月・祝）までに、移住連宛に送付ください。

返送先：(FAX) 03-3837-2317　（Email）smj@migrants.jp　（担当）安藤真起子

2018 年 9 月 14 日

移住者と連帯する全国ネットワーク